

地区調査票

作成年月日

2015.2.13

作成者	菅野将央	所属	宮城県農村振興課
調査年月日	2015.01.21		
Country	Republic of Malawi		
Irrigation Services Division	Salima		
District	Salima		
Extention Plannig Area	—		
Scheme	Lifu		

基本情報

◎受益面積 100ha

うち 農家 88ha, 農業試験場 8ha, 政府管理 4ha

◎受益者数 170名 (男性 80名, 女性 90名)

◎マラウイ湖からのポンプ用水

聞き取り調査

- ・組合員は世帯ごとではなく農民個人で参加。
- ・精米機が老朽化し精米精度が悪くなっていること, 生産した米の流通に問題
- ・パイプラインシステムは, 1970年代EUの支援により設置。老朽化のため漏水も見られる
- ・電気料金は, 月額固定から使用量に応じて支払う方式に変更。電気料金の低減が図られる。
- ・パイプラインシステムは, 1970年代EUの支援により設置。老朽化のため漏水も見られる
- ・収穫後水路の維持管理は組合員が共同で実施。非参加者には罰金5,000MKが科せられる。
- ・排水路の土砂撤去が問題(人力で行うため, 十分なメンテナンスができていない状況)
- ・自家用車を所有している農家もいる(※米で得られた収入を原資にビジネスを行っていることが多く, 米の販売収入だけでは購入は難しい)

写真・図表



備考

地区調査票

写真・図表



地区調査票

作成年月日

2015.2.13

作成者	菅野将央	所属	宮城県農村振興課
調査年月日	2015.01.24		
Country	Republic of Malawi		
Irrigation Services Division	Lilongwe		
District	Dedza		
Extention Plannig Area	Mthakataka		
Scheme	Bwanje Valley		
基本情報			
◎受益面積 800ha			
◎受益者数 2,067人 (男性 970人, 女性 1,097人)			
◎頭首工建設期間1997年～1999年(3年間), その後被災し復興工事(2006～2007)を実施。			
聞き取り調査			
・頭首工建設以前の収量2t/haから5t/haに増加			
・水利費2,000MK(3月～5月の灌漑期間), 年間組合費1,500MK			
・組合費は2,067人中2,040人から徴収(徴収率 98.7%)。未払者には収穫後倍額徴収			
・組合費の不払いがあっても, 農業用水の供給停止は行わない			
・ブワンジェバレー頭首工の管理記録(2011年2月～のマンスリーレポート)について, 初代JOCVの指導内容が確実に実施されていることを確認。視察者へもデータを元に管理状況の説明を行っており, 現在, リロングウェ大学のリサーチセンターが管理データを分析中			
・2014年6月20日にBest Engineering Project Award (Malawi Institution of Engineers)を受賞。			
・生産組合は, 精米及びメイズ製粉所を経営(JICA支援による)			
写真・図表			
			
備考			

地区調査票

写真・図表



地区調査票

作成年月日

2015.2.13

作成者	菅野将央	所属	宮城県農村振興課
調査年月日	2015.01.27		
Country	Republic of Malawi		
Irrigation Services Division	Lilongwe		
District	Dedza		
Extention Plannig Area	Linthipe		
Scheme	Mabwinja		

基本情報

- ◎受益面積 10ha
- ◎受益者数 50人（男性 28人, 女性 22人）
- ◎固定堰から開水路による灌漑
- ◎年3回の輪作（メイズ, アイリッシュポテト, トマト）
- ◎第2期JOCVが設計・施工

聞き取り調査

- ・組合入会費 5,000MK, 水利費 500MK／年, 組合費 200MK／月
- ・組合員以外が, 足踏みポンプ, バケツ等で農業用水を利用する場合は, 3,500MK／年を支払う
- ・水路の維持管理作業は組合員は全員参加。不参加の場合の出不足金は 500MK／回。

写真・図表



備考

- ◎宮城県が資材供与し約200mの延伸と足踏み式ポンプの供与

地区調査票

写真・図表



地区調査票

作成年月日

2015.2.13

作成者	菅野将央	所属	宮城県農村振興課
調査年月日	2015.01.26		
Country	Republic of Malawi		
Irrigation Services Division	Lilongwe		
District	Ntcheu		
Extention Plannig Area			
Scheme	Nmadidi		

基本情報

◎受益面積 13ha

◎受益者数 40人（男性 19人, 女性 21人）

◎ダンボに24箇所の井戸を設置し, 井戸から足踏み式ポンプで水路分水柵に送水

聞き取り調査

- ・地区内に深さ4.0mの井戸を24箇所配置
- ・井戸水面から約0.4mの揚程で分水柵に送水。分水柵からボーダー灌漑
- ・足踏み式ポンプは, 旧式(インド製)2台と新式(ケニア製)5台の計7台
- ・井戸は全て共有。ポンプも5~6名/1台で共有

写真・図表



備考

◎水路網と足踏み式ポンプの組合せは有効。今後の施設建設に導入検討

地区調査票

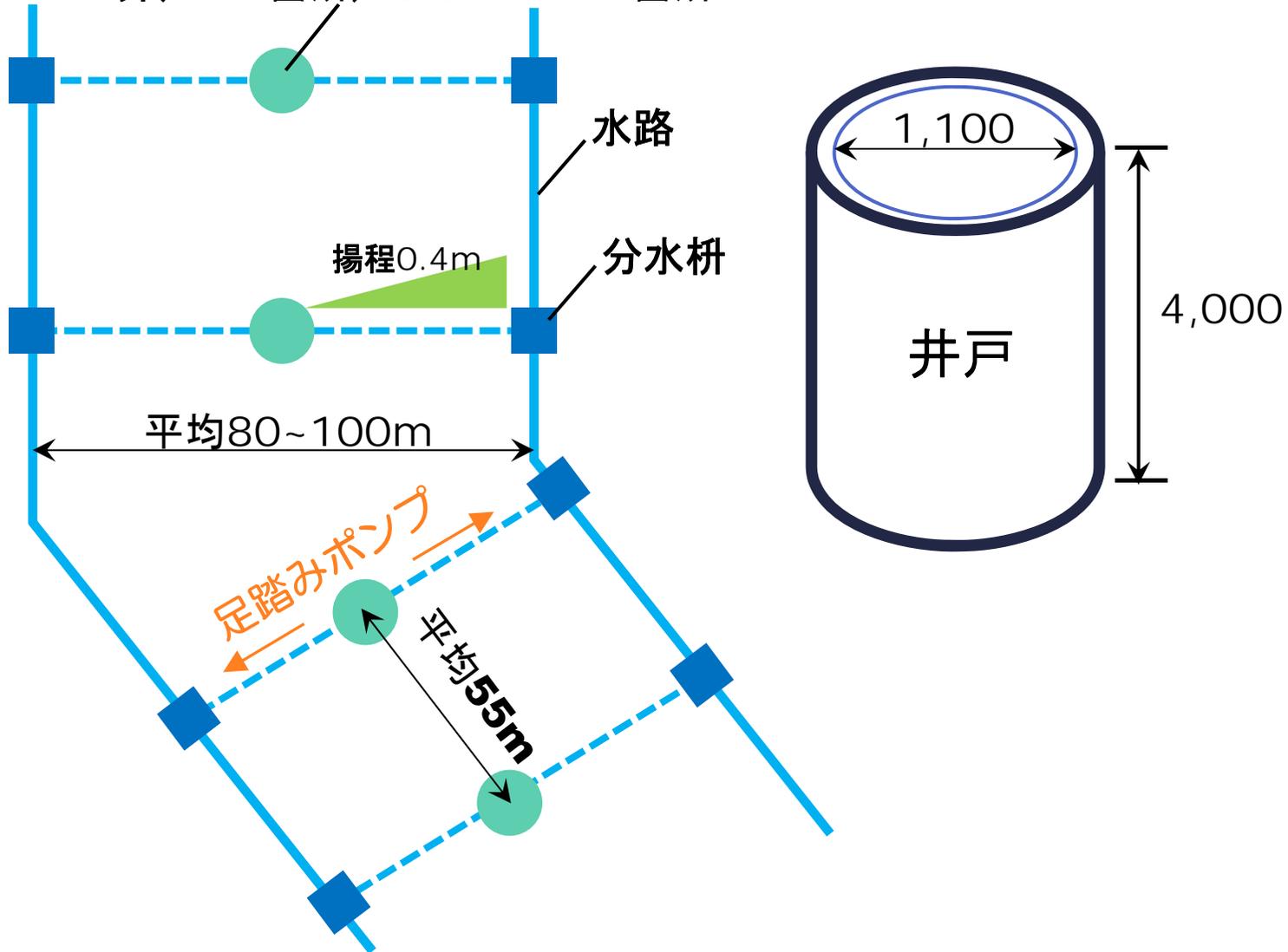
写真・図表



ンマディディ地区 模式図

Nmadidi A=13.0ha

井戸：1箇所/0.5ha @ 24箇所



地区調査票

作成年月日

2015.2.13

作成者	菅野将央	所属	宮城県農村振興課
調査年月日	2015.01.26		
Country	Republic of Malawi		
Irrigation Services Division	Lilongwe		
District	Ntcheu		
Extention Plannig Area			
Scheme	Sembe		

基本情報

- ◎受益面積 10ha
- ◎受益者数 30人（男性 15人, 女性 15人）
- ◎固定堰から自然圧パイプラインによる灌漑
- ◎当初灌漑面積は, 6haで, 末端に貯水槽を設置し夜間貯留。貯水槽の灌漑面積は4ha
- ◎粗朶工法の試験施工地区の一つとして検討

聞き取り調査

- ・夜間に利用しない水を活用し, 貯水
- ・受益者が認識しやすいようにパイプラインの埋設位置に植栽
- ・年に3回収穫可能

写真・図表



備考

- ◎粗朶工法の試験施工を検討

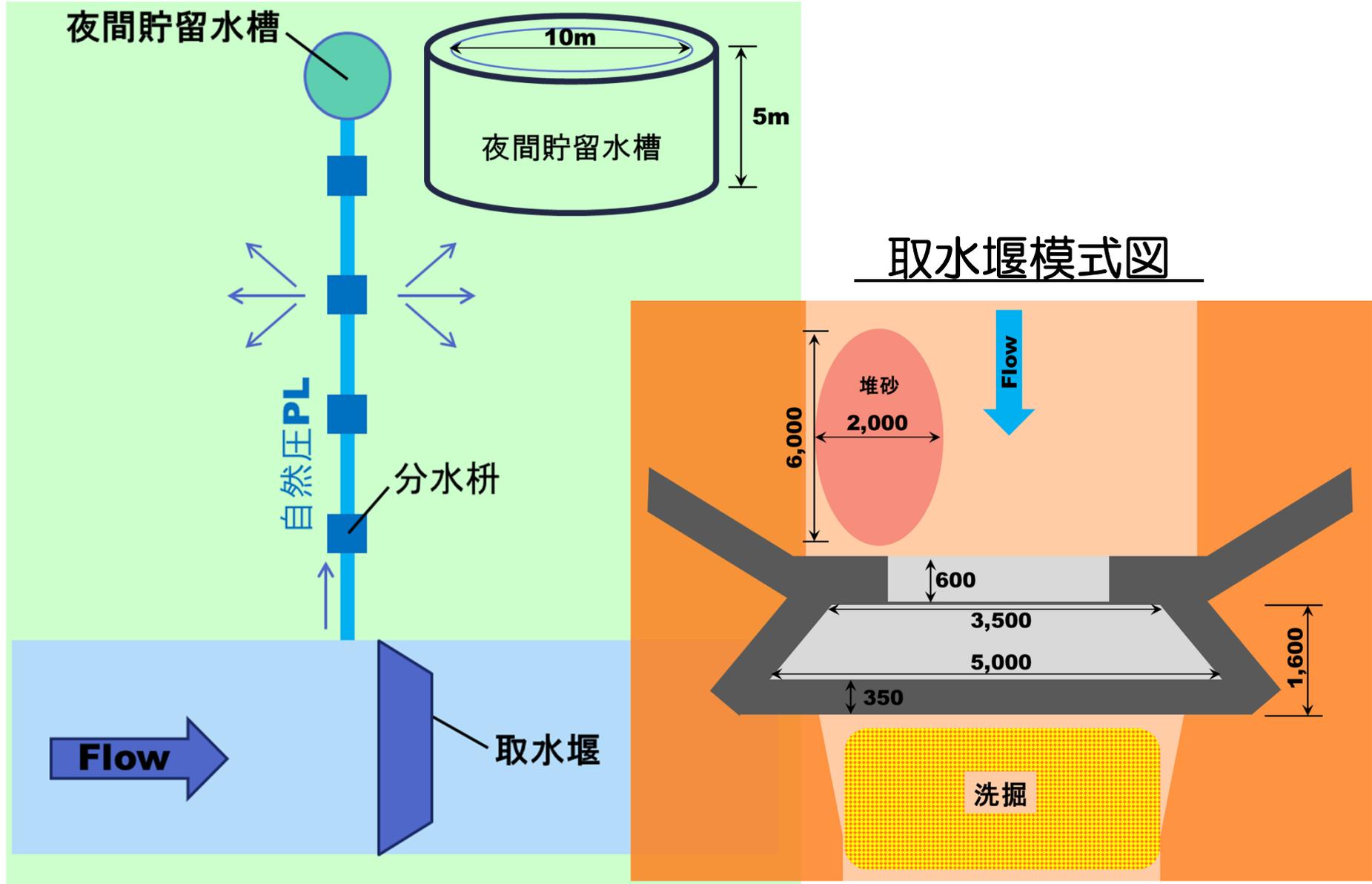
地区調査票

写真・図表



センベ地区 模式図

Sembe A=10.0ha



地区調査票

作成年月日

2015.2.13

作成者	菅野将央	所属	宮城県農村振興課
調査年月日	2015.01.26		
Country	Republic of Malawi		
Irrigation Services Division	Lilongwe		
District	Ntcheu		
Extention Plannig Area			
Scheme	Zioya		

基本情報

- ◎受益面積 0.8ha
- ◎孤児の小学校, 農地灌漑, 上水道がセットになったプロジェクト
- ◎井戸からソーラー発電により水中ポンプで3基(5,000L/基)のタンクに揚水

聞き取り調査

- ・総事業費 5,000,000MK(約140万円)
- ・水道は下流側の4つの村で共同利用

写真・図表



備考

- ◎村落開発として, 農地灌漑と水道の組合せは有効
- ◎ソーラー発電施設は, 民間企業との連携を模索

地区調査票

写真・図表



ジオヤ地区 模式図

Zioya A=0.8ha

